

令和4年度京都市みやこユニバーサルデザイン審議会

第1回みやこユニバーサルデザイン普及推進部会

次 第

（ 日時 令和4年10月17日（月）
午後2時～3時30分
場所 京都市役所4階 正庁の間 ）

- みやこユニバーサルデザインの普及推進について（意見交換）

資料

- 資料1 ユニバーサルデザイン普及推進に係る庁内等への働きかけの状況
- 資料2 黄色の標準点字ブロックを使用する等
歩道のユニバーサルデザイン化をはかるための試験敷設工事
- 資料3 ユニバーサルデザインの普及推進の進め方について（意見交換）

座席表

ユニバーサルデザイン普及推進に係る庁内等への働きかけの状況

1 京都市交通バリアフリー推進会議（※）への意見等伝達

- UD審議会委員の皆様のレポートから、交通に関する御意見等について抜粋し、意見として提出（書面会議）
- みやこユニバーサルデザイン賞について、公共交通に関するアイデアやエピソードの応募が多数あること、受賞作品をホームページに掲載していることを紹介

※ 京都市交通バリアフリー推進会議

学識経験者、利用者代表（高齢者団体、障害者団体、PTA連絡協議会等）及び交通事業者（鉄道、路線バス事業者）、関係行政機関（国土交通省、京都府、京都市）で構成。「歩まち・京都」交通バリアフリー全体構想」の進行管理等を行っている。

2 みやこユニバーサルデザイン推進主任連絡会議での働きかけ

令和4年9月1日に会議を開催。以下について資料配布、説明を行った。

- 広報印刷物のUD対応について
本市が発行する広報用印刷物については、何らかの情報保障を行うことを求めているが、令和3年度に発行した印刷物（チラシを除く1万部以上発行のもの）のうち、約10%が対応していなかった。
改めて、広報印刷物のユニバーサルデザインチェックフローの徹底を依頼。
- ※ 今年度から、総合企画局広報担当のイントラネットページに掲載されている「広報用印刷物チェックリスト」に、ユニバーサルデザイン対応チェックシートを追加
- 障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法の施行について
 - ・ 法の内容について説明するとともに、求められる対応として、聴覚障害のある人、視覚障害のある人、知的障害や発達障害のある人ごとに例を紹介。
 - ・ 窓口における聴覚障害のある人への対応について、「耳マーク」の設置や筆談等の対応、ヒアリンググループの使用について依頼。
- UD審議会委員の皆様のレポートから、本市の事業に関する御意見、本市の事業に取り入れられる御意見等について紹介。各局区等における事業において参考としていただくよう依頼。
※ 具体的な御指摘をいただいたものについては、直接担当課に伝達し、対応の検討を依頼している。

（裏面に続く）

3 職員研修

- 新採職員研修で、UDの概論を障害者差別解消法と併せて講義
- 局区等広報担当者向けUD講座
今年度は、視覚障害の理解と視覚障害者への配慮について実施予定

4 今後の検討課題

- 庁内向けUDガイドラインの作成
 - ・ 各対象者別（障害種別、高齢者、子連れ、外国人、LGBT等）の対応例
 - ・ 事業等における配慮事項
 - ・ 施設整備における配慮事項 等

黄色の標準点字ブロックを使用する等 歩道のユニバーサルデザイン化をはかるための 試験敷設工事

全国的に歩道のユニバーサルデザイン・バリアフリー化が進み、多くの交通の要所、車歩道の境界部において、点字ブロックが敷設されていますが、周囲の色との違和感を気にしてか、標準色として定められている黄色の点字ブロックを使用せず、独自の色のものを使用する事例が後を絶ちません。

このような状況を改善するために、京都市建設局、ブロックメーカーの協力のもと、黄色の点字ブロックの両側に周囲の色に調和して景観も損なわず輝度比も確保できるカラーコーディネートブロックを開発し、試験的に設置する取組をしています。

また、横断歩道との接点部で、車椅子利用者にとって移動の障害にならない工夫も検討しています。

井川 啓

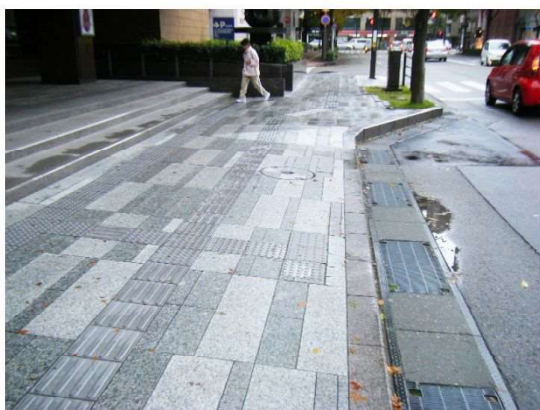


写真 5-3 輝度比が低い視覚障害者誘導用ブロックの整備事例

点字ブロックと車椅子

点字ブロックと車椅子に関する意見交換会が、令和 4 年 4 月に国土交通省において開催された。



福岡市営地下鉄

車歩道境界部の段差

埼玉県熊谷市では、車歩道境界部について、2cm の段差が重要な視覚障がい者と走行の障害と感じる車椅子利用者双方に配慮した、熊谷 UD ブロックを開発して設置している。このことは、熊谷市の移動等の円滑化をはかる条例で規定されている。

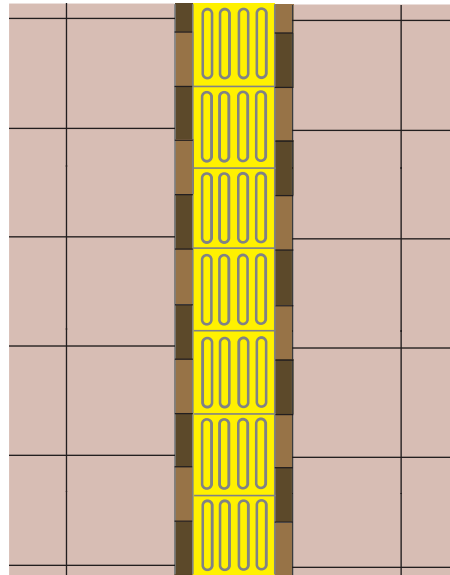


写真 2-1-1 縁端高さ一部 0cm 構造の歩車道境界

国土交通省「道路の移動等円滑化に関するガイドライン」(令和 4 年 6 月版)より

コーディネートブロック試験敷設

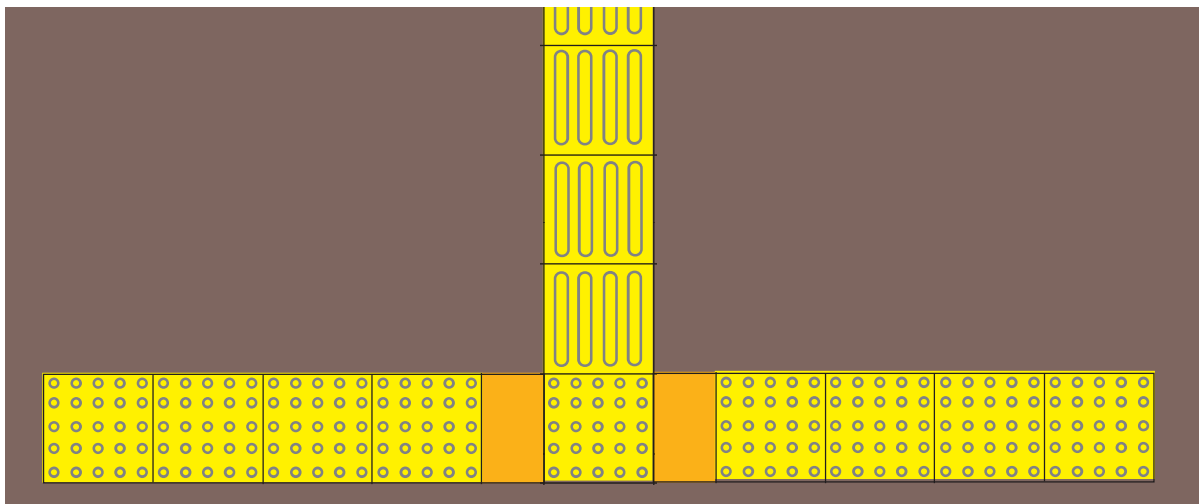
黄色の点字ブロック両側に歩道と調和するブロックを敷設することで、
景観に対しての唐突感、違和感をできるだけ和らげ、輝度比を確保
する試み



(イメージ)

歩道と横断歩道の接点付近での 点字ブロック切り欠き

車椅子利用者の走行にも支障がないように、点字ブロック部の2箇所に
切り欠き部をつくる。切り欠き部は車椅子が滑らないインターロッキング
にし、色は点字ブロックよりも少し濃い黄色にすることで、切り欠き部を
分かりやすくする。



(イメージ)

ユニバーサルデザインの普及推進の進め方について（意見交換）

テーマ：「ユニバーサルデザインの認知度向上」

昨年度のレポートから

【全般】

- ・ 障害のない人にもメリットのある「ユニバーサルデザイン」をもっとPRして理解を広めていければよい。
- ・ 市の発行物や施設がUDの事例集やショールームになればよい（UDフォントを使っている箇所にUDフォントを使っていることやUDフォントの説明を記載するなど）。
- ・ 市の広報番組（テレビ、ラジオ）でUDについて話してはどうか。
- ・ 企業（東映、任天堂など）に協力してもらい、アニメ作品でUDについて紹介してはどうか。
- ・ ユニバーサルデザインの普及を進めていくには、想像だけでなく、知る、考える、理解するなどの体験の場があった方がよい。
- ・ 審議会委員の事業所等に設置できるグッズの作成ができないか。ピンバッジなども検討してはどうか。
- ・ 京都市におけるSDGsとUDを合同で認知度向上に取り組むのはどうか。
- ・ 市民しんぶんにUDの考え方について紹介するコーナーを設けるなどから始めてはどうか。
- ・ 小中高校、教育委員会等と連携し、いろいろな課題を若い人たちとも共有することができれば。

【UD賞】

- ・ 個人的にみやこUD賞の募集チラシを勤務先や町内会、近隣の小学校や学生マンションに配布しているが、認知度は低い。市内全域の学校から応募があるような広報活動が必要。
- ・ 多様な方から、日常生活において困ったことや注文事項をまとめて、次回の応募要項の参考にできないか。
- ・ 一般の方の応募がごくわずか。一般の人への呼びかけが必要。
- ・ これまで応募してくださった学校の先生にヒアリング、アンケートを実施して、取り組んで得られた効果や募集時期の改善点などを聞いてはどうか。そのうえで、市内の学校への周知を強化すれば応募増につながるのではないか。応募増に向けた活動がUDの考え方浸透の一助となる。